



国際ロータリー第 2620 地区 甲府北 ロータリークラブ

2025-2026 年度 2686 回例会 7 月 30 日

地区ガバナー 稲葉 雅之 クラブ会長 近藤 徹

本日のプログラム

●ガバナー公式訪問例会 国際ロータリー第 2620 地区 稲葉 雅之 様 (伊東西 RC) 2025-26 年度 ガバナー

●会長の時間 近藤 徹 会長



本日は、2620 地区稲葉雅之ガバナーをお迎えしての例会となります。稲葉ガバナーからは、2025 年～2026 年度の R I そして 2620 地区の活動方針についてご説明とご指導いただけるものと思っております。どうかよろしくお願いたします。

さて、私は、7 月 5 日、静岡で開催されたインターアクトの「ロータリアンと顧問先生との連絡協議会」に出席して来ました。協議会の中では、インターアクト関連の行事である、地区のインターアクト年次大会と、指導者講習会の説明などを中心にお話しがありました。

当クラブは、城西高校インターアクトクラブの提唱団体となっておりますが、再来年度の 2027 年に甲府城西高校がホスト校として年次大会を開催することになっています。まずは、皆様に、予めご連絡をしたいと思います。

当クラブにおけるインターアクトクラブの歴史は、1971 年（昭和 46 年）に第一商業高校にインターアクトクラブが設立され、当クラブが提唱団体として、承認状を授与されました。その後、学校の統合で、第一商業高校は城西高校となって、現在に至っております。

インターアクトクラブは、12 歳から 18 歳までの中学生、高校生が、インターアクターとしてボランティア活動やインターアクト会員相互の交流を通じて、視野を広げ、国際感覚を養うという活動で、重要なのは、ロータリークラブが支援をするということにあります。

支援の内容は、指導、助言、監督のほかに奉仕活動をロータリアンとともに実施するといったことなど様々なものがあります。

2620 地区には、加盟校は 21 校あり、提唱クラブは 18 クラブがありますが、先日の協議会の中では、地区のプログラム委員長から、厳しいご指摘がされました。

「インターアクトクラブが行っているボランティア活動などの事業に、ロータリークラブが関わって、一緒に頑張っているところは、どれだけあるのか？インターアクトクラブの決め事に、学校にインターアクト委員会を組織して、月に 1 回とか 3 ヶ月に 1 回は開催して、そこにロータリークラブの会長、幹事などの役員が出席して見守っていくというものがあるが、多分どこのクラブもやっていない。インターアクトクラブの事業は、ただ生徒たちが頑張っているのを見ているだけで、ロータリークラブ側から何も投げかけをしていないのが現状である。」というようなことを述べていました。

そして、最近、インターアクトクラブが廃部となった学校の具体名を挙げて、その責任は、提唱団体が何もしていなかったからだ、と厳しく指摘をしていました。

それを聞いて、当クラブについては、少なくとも私としては、城西高校のインターアクトクラブが普段どのような活動をしているのか、全く知らないということを痛感しました。

いろいろなインターアクトクラブの活動内容を聞きますと、目の不自由な人のための点字の本やカレンダーを作成する活動や、医療従事者が使用するエプロンを作ったり、PET ボトルのキャップを集めて車いすを送るという活動やお寺のお掃除をするというボランティア活動もあるようです。

なんとなくの感想で言うと、当クラブでは、インターアクトクラブに活動費をお渡しして、年に数回、顧問の先生から活動内容を聞くということに終始していて、こちらから、活動の提案やアドバイスをしたり、生徒たちと交流するとか一緒に活動するということがあまりないのではないかという気がしています。

今期の当クラブの活動目標としては、初めの例会で申し上げたとおり、以前から取り組んでいる事業を継続していくことを重点に置くこととしています。インターアクトクラブの提唱団体としての活動もその一つです。

当クラブは、お金が豊富にある訳ではありませんので、クラブとして、たくさんの奉仕活動を始めるということは難しい状況ですが、インターアクトクラブの活動を通して、甲府北ロータリークラブも社会に奉仕できるのであり、せつかくならこの大きな資源を活用していくことが大事なのではないかと思えます。

ですので、城西高校のインターアクトクラブの活動にもっと興味と関心を持って、関与して、一緒に運営するという試みをしていきたいと考えています。

それに、インターアクトクラブは、高校生の生徒により組織されるのですから、毎年毎年メンバーも替わって、その年ごとの特色なども出て、考えようによっては、いつまでも飽きの来ない活動になるのではないかなと思います。

我々が積極的に関わっていかねば、いつの間にか活動が衰退して、廃部になってしまうということもあり得るのではないかなと感じました。

先日の協議会は、そのようなことを考える機会となりましたので、お話しさせていただきました。是非、皆様今後のインターアクト活動にご協力をお願いいたします。

●2685 回例会 (7/16) ニコニコボックス紹介 ♡大口 ◇トリプル ◎ダブル

♡山梨第2グループ ガバナー補佐 鈴木信行 事務局 土橋幹夫

稲葉年度のガバナー補佐を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

甲府シティ井上会長、共にガンバリましょう!!

◇井上清美 (甲府シティ RC)

鈴木ガバナー補佐、事務局 土橋様、先日はご来訪ありがとうございました。5月の8クラブコンペもかさねてご参加ありがとうございました。

赤 岡 鈴木ガバナー補佐、事務局土橋様 ご苦勞様です。甲府シティ RC の井上様ようこそ。

小 澤 鈴木ガバナー補佐、土橋事務局、本日はよろしくお願いいたします。甲府シティ RC 井上様ようこそ。

河 野 鈴木ガバナー補佐、土橋事務局 ようこそ。エンジョイロータリー。甲府シティ RC 井上様ようこそ。

小 林 鈴木ガバナー補佐、よろしくお願いいたします。甲府シティ井上様、ようこそ!

近 藤 本日は鈴木ガバナー補佐、よろしくお願いいたします。甲府シティロータリークラブ井上会長様ようこそお出でいただきました。

中 尾 甲府シティ RC 会長、井上さんようこそ!! 本年度会長頑張って下さいね。鈴木ガバナー補佐ご指導よろしくお願いいたします。

廣 瀬 鈴木 G 補佐、土橋事務局様ご活躍を期待しています。甲府シティ井上会長ようこそ!

古屋(里) シティ RC 井上様ようこそおいで下さいました。

又鈴木ガバナー補佐と事務局様ご苦勞様です。



甲府シティ RC 会長 井上清美様

●2685 回例会報告 山梨第2G ガバナー補佐訪問例会 --- 鈴木信行ガバナー補佐 (甲府北)

国際ロータリー2620地区稲葉雅之ガバナーの地区方針をお伝えします。

まず、皆様もご存じと思いますが、6月8日に2025-26年度会長に予定していたマリオ・セザール・カマルゴ氏の辞任発表があり、新たに候補者のなかからフランチェスコ・アレッツォ氏 (イタリア、ラゲザ RC・歯科医) が会長に選任されました。『よいことのために手を取りあおう』のメッセージ、方針は継承されます。

2025-26年度稲葉雅之ガバナー (伊東西ロータリークラブ)

地区の標語 「親睦からの笑顔で奉仕」

1 会員増強の重要性

ロータリーの最大の財産は、会員。プロジェクトでも世界的な広がりでもありません。

最大の財産は会員です。ロータリー会員の献身、奉仕が世界中の人々から称賛されている。

ロータリーの持続可能性は最も重要なのは会員です。変化し続ける社会に適応し、様々な年齢層、バックグラウンドを持つ人々を迎え入れる必要がある。若者を歓迎することはもちろんですが、高齢者が新しい目的、つ

なかりを求めてロータリーに参加することも重要。もちろん女性の参加は最重要です。多様な会員を迎え入れる柔軟性がロータリーには必要です。

2 継続性の重要性

会員増強とロータリーの成長を支えるためには単年度のリーダーシップだけではなく、継続的なビジョンが不可欠です。地区ガバナー、クラブ会長が一貫した方向性をもち、前任者の施策を尊重しながら推進することで持続的な発展が可能になる。

国際ロータリーの理事会は、2024-25年度をトライアル期間の初年度として、地区やクラブに対して**3か年度にわたる目標と計画**の立案を要請しました。2025-26年度はその2年目に当たります。

3 パートナーシップの力

ロータリー。国際ロータリー、各ロータリークラブを指しますが、単独で成し遂げられることは限界があります。外部の団体、組織と連携、協力することでより大きな事業が成し遂げられ、国際社会に、地域社会により大きな影響を与えられます。

例えばロータリーが「ポリオ根絶」に40年間に230億ドルもの資金を投じ、成功を収めたのはビルゲイツ財団やユニセフとの協力関係があったからです。この経験を生かして他の社会奉仕団体、ビジネス団体、専門職団体、学術機関等とパートナーシップを強化し、連携することで、ロータリーはより多くの優れた人材を確保し、ロータリーの成長を遂げることが可能になります。

4 次世代へつなぐロータリー

クラブは成長するか、衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤はありません。

私たちは会員の勧誘と維持をロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることでロータリーがこれからも活気とインパクトを維持できるのです。

5 まとめ

行動人とは何をするのでしょうか。私たちは良いことのために手を取り合います。

2025-26会長のメッセージ

「良いことのために手を取り合おう」

分断が進む現代の世界においてロータリーは団結と希望の光です。私たちロータリーのプロジェクトは、人種、性別、思想、経済的背景の異なる人々を結び付け、世界でよいことをするという共通の目的で人々を一つにします。

ロータリーは、より良い人間となり、人々に奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう私たちを勇気づけます。

また、こうしたロータリーの使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。

成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。良いことのために手を取り合えるロータリーを築き、発展させ、全ての人にとって明るい未来を実現させましょう。

「親睦からの笑顔で奉仕」がRI2620 地区 2025—26 稲葉年度の標語です。

稲葉ガバナーはこうおっしゃっています。

『ロータリーアン同志が手を取り合う』ことを今一度大切にすべきだと提案します。弁護士だったポール・ハリスは、仲間と意見を交わし、友情を分かちあうために、1905年にシカゴ・ロータリークラブを設立しました。最初のロータリークラブです。

また、ロータリーソング「手に手つないで」が東京ロータリークラブの矢野一郎会員によって作詞、作曲されたのは1952年、昭和27年のこと。戦後の焼け野原から復興を試み始めた景色に何が見え、何を思って作られたのでしょうか？「米山奨学金事業」がスタートしたのもこの頃です。

人は心から平和を願うとき、手を取り合い、友の輪を作ることから始めるのだと、70数年の時を経ても色褪せないメッセージの継承から学べますね。

小さな輪を大切に、大きな輪に育てましょう。



鈴木信行ガバナー補佐

2024-25年度深沢成彦会長までの歴代会長の数を数えてみると58名、2025-26近藤会長は甲府北RC第59代会長になります。

昨年度-深沢年度にクラブ行動計画を深沢春樹クラブ行動計画推進リーダーを中心に策定されました。

甲府北RCビジョン声明「**つながりを力に、未来へ続くクラブへ**」と定め、5つの重点方針を定めました。

- ① **魅力ある例会の開催**
- ② **会員増強と継続率の向上**
- ③ **地域との連携事業の強化**
- ④ **出席率の向上**
- ⑤ **次世代、後継者育成**

RI会長方針「継続性の重要性」3か年の目標「3 year-goals」の2年目というお話をしましたが、近藤会長はクラブ行動計画を受けて、計画書の会長あいさつにおいてRI会長の方針をうけて、会員増強とその前提となるクラブ運営基盤の強化を図ることを最重要課題として取り組むとあります。さらに会員相互の親睦を深め、職業奉仕の理想を実現するため例会内容充実を掲げられ、ロータリー活動をして良かった、甲府北RCに入って良かったと思えるクラブづくりを目標とされています。

「いつまでも楽しく活動できる甲府北ロータリークラブを目指して」を標語に定めておられます。

さて、2030年をめざして持続可能な世界の目標SDGsが喧伝されて10年も経たないうちに、今、世界はロシアのウクライナ侵攻、イスラエルによるガザ攻撃等を手始めにトランプ大統領のアメリカンファースト、環境問題、難民問題、エネルギー問題等々の諸課題を前にポピュリズムの台頭（ヨーロッパ）、我国も。世界で、国内で社会の分断が明らかになってきています。

国連等の世界機関、日本政府等の公的機関の限界が、ここにきて、急に表面化してきています。

昨日、甲斐RCを訪問、当時、溝口ガバナー補佐が訪ね下さった、一昨年志村年度のことを思い出しました。まず、クラブ訪問で甲府北RCを訪ねて下さった時のことです。ウクライナ侵攻から1年以上が過ぎてウクライナ側からの情報がほとんどでロシアに非難が集中している時期に、何と甲府北RCの志村会長はモスクワRCとの交流をクラブの事業計画にしていました。クラブ内でも賛否が分かれた計画でしたが、溝口ガバナー補佐は理解を示して下さったのです。そして年度末近く、多くの障害を乗り越えてリモートによるモスクワRCとのリモートによる合同例会開催時に第3回目訪問として出席下さったのです。モスクワRC会員に対して「モスクワ郊外の夕べ」を素晴らしいバリトンボイスで（それもロシア語で）歌って下さったのです。感動的な合同例会になったのは言うまでもありません。

たった会員21名の甲府北RCですが、ここにロータリークラブだからこそモスクワロータリークラブとの交流が可能になったのです。ここにロータリーの可能性を感じるのです。

この1年、山梨第2グループの仲間たちと共に「良いことのために手を取り合おう」。

●幹事報告

1. 8月20日（水）は納涼家族会を開催します。詳細はおってご案内いたしますので、ご予約くださいますようお願いいたします

●他クラブの例会変更

- | | | | | |
|------------|-----------------|--------------------|------------|-----------------|
| 1. 甲府RC | 8月4日（月） | 納涼夜間例会のため | 点鐘：18時00分 | 場所：ベルクラシック |
| 2. 甲府南RC | 8月5日（火） | 納涼会のため夜間に変更 | 点鐘：18時30分～ | 場所：シャトレーゼホテル談露館 |
| | 8月12日（火） | 休会（祝日が含まれる週） | | |
| 3. 甲府シティRC | 8月6日（水） | 炬辺例会のため | 点鐘：18時30分 | 場所：甲斐テラス |
| | 8月13日（水） | お盆休会 | | |
| 4. 甲府東RC | 8月1日（金） | 納涼家族例会のため夜間に変更 | 点鐘：18時30分 | 場所：ネオス・ミラベル |
| | 8月15日（金） | お盆休会 | | |
| 5. 甲斐RC | 8月4日（月）→8月9日（土） | 地区補助金事業・立正光生園とのBBQ | 点鐘：11時00分 | 場所：マウントピア黒平 |